

**今日のトピック 日本株式市場の見通し**

**米国の政策運営の不安定さによる影響は限定的**

**ポイント1 米国株安を受け、日本株も下落  
米景気刺激策実施の遅れを警戒**

【日経平均株価と株価収益率の推移】



(注1) データは2011年1月4日～2017年5月18日。  
(注2) 株価収益率は株価÷1株当たり予想利益、1株当たり予想利益は12カ月先行 (Bloomberg L.P.予想)。株価収益率の平均値の計算期間は2011年1月4日～2017年4月28日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 日本株への影響は限定的  
米国の政策運営の不安定さは残る**

【16年度、17年度の経常利益見通し】 (単位: %)

	2015年度 (実績)	2016年度 (実績・予想)	2017年度 (予想)
全産業	0.3	3.1	14.1
製造業	▲ 3.7	▲ 1.1	19.4
非製造業	5.8	8.3	8.1

(注) 2017年5月18日現在。QUICKコンセンサスベース (除く金融)。  
(出所) QUICKのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**今後の展開 緩やかな景気拡大が続く中、業績の上方修正に期待**

- 1-3月期の実質GDP成長率は前期比年率+2.2%と事前予想 (Bloomberg集計) の同+1.8%を上回り、5四半期連続のプラス成長となりました。不透明感の強い海外要因が今後の懸念材料ですが、内需の増加継続が期待されます。16年度補正予算の執行がこれから本格化するなど、緩やかな景気拡大が続く見通しです。
- こうした中、17年度の経常利益は製造業の大幅な復調を背景に2桁の伸びが予想されます。今後一層の円高が進まなければ、業績の上方修正も期待され、日本株式市場は次第に堅調さを取り戻すと考えられます。

**ここもチェック! 2017年5月18日 ロシアゲートをどう解釈するか  
2017年5月18日 米国株式市場の見通し 景気、業績は堅調でいずれ落ち着きを取り戻そう**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。